



ライフ

Gタイプが
「セレクト」に進化して
お買い得感アップ

エクステリア各部のボディ同色化で、外観はGタイプ特別仕様車である「メヌエット」と同じになる。(写真は「メヌエット」)



●ライフGセレクトの装備(編集部予想)

現行Gタイプに...

- ボディ同色電動リモコンドアミラー
- ボディ同色ドアハンドル
- ボディ同色テールゲートハンドル
- ...を追加

10月19日
発売

タ

ーが登場の話でもちきりのライフだが、その前にベシックグレードであるGタイプが「Gセレクト」としてリニューアル。ドアハンドル、テールゲートハンドルのボディ同色化、そしてやはりボディ同色の電動リモコンドアミラー追加が現行Gタイプからの変更点。しめて2万2000円ほどのグレードアップとなるが、プライスは2WDのATで101万

8000円と据え置かれる予定だ。ブライバシーガラスの有無をのぞけば、外観上はメヌエットとほとんど同じになる。現行Gタイプよりグレード上の気分が味わえることを考えたら、実際のプライス以上にお買い得。
「オーディオは自分で選びたい」「ガラスには熱反射フィルムを貼ってみたい」なんていう人にはオススメかもしれない。

バモス

“デラクシー”な
Lタイプ特別仕様車

(写真はLタイプ)

●バモス特別仕様車の装備(編集部予想)

Lタイプをベースに...

- アルミホイールカラー変更
- ハーフシェード付ウィンドウ採用
- リアライセンスガーニッシュ採用
- メッキ立体エンブレム採用
- インテリア色変更
- シート&トリム変更
- 新柄木目センターパネル採用
- CD&チューナーオーディオ採用



10月26日
発売

ラ

イフGセレクトの1週間後に投入されるのが、バモスのLタイプをベースとした特別仕様車だ。ターゲットをファミリーユーズとした、バモス版デラクシーのイメージでまとめられている。

シート表皮はグレー系新柄(ステツフワゴン・デラクシー用ベース)に、木目調センターパネルは標準のものより落ちついたカラーの新柄に変更。そこに収まるオーディオはCD+チューナータイプになる。

エクステリアではリアライセンスガーニッシュやターボ用メッキエンブレムの採用、アルミホイール色変更、ハーフシェードガラス採用など、さりげない部分だが特別仕様車ならではの差別化が図られる。

アクティ・トラック

ボディまでイジる
で荷台がもっと
広がる!



(写真は現行モデル)

12月
発売予定

軽

トラの命は、やっぱり荷台だ。新規格化でボンネット付きセミキャブ型とした3車の中でも、アクティの荷台長はもっとも短かい。実際に「これじゃ耕耘機が載らない」という声も聞かれたという。耕耘機も作るホンダとしては大失態だ。

そこで、この12月のMCでは大がかりな改修を行い、荷台長をライバル並みに拡大する。

フロントフェンダーやボンネットなどに手を入れてフロントオーバーハング部分を30ミリ短縮。その代わりに荷台ワックを伸ばし、リアオーバーハングが30ミリ延長される。さらに運転席背後のバックパネルを前進させたうえで、下部をエグめるように前方へ曲げた形状として、荷台フロア長にして40ミリの余裕を稼ぎ出した。

これで荷台長は1940ミリと他社モデル同等になる。シートスライド量は前後80ミリに減少されるもよしだ。



●スクープ短信● ライフターボのATは3速か、4速か? 開発当初はやはり4速ATをメインに検討されていたようだが、マッチングの問題か、加速フィーリングがイマイチ、とのことで最終的には3速ATが採用となったようだ。